

資料3－1

府における令和4年度夏の暑さ対策

＜取組実績＞

暑さ対策の取り組みにあたって

◆令和元年度の猛暑対策検討会議でいただいたご意見をもとに、取組を展開

主なご意見

- ・体が暑さに慣れていないければ、体温調節機能が上手く働くかない
→暑くなる前の時期からウォーキングなどの汗をかく運動の継続が重要
- ・暑さの危険度は、気温だけでなく、湿度や日差しによっても変化
→危険な暑さにあらかじめ気づき、暑さを避ける行動をとることが重要
- ・気温や湿度が高い日には屋内でも熱中症になることがある
→暑さに対して自分の感覚だけに頼らず、部屋の温湿度を確認してクーラーの設定温度を調節することが重要
- ・屋外空間における夏の昼間の暑熱環境の改善
→人が集まる場所に、ミスト発生器や日除けなどのクールスポットを作ることが効果的

暑さから身を守る「3つの習慣」



暑さにつよい 「からだづくり」



暑さを知らせる 「情報の活用」



暑さをしのぐ 「クーラーの利用」



クールスポットの
拡充

暑さ対策の取り組みにあたって

◆昨年度から全国展開が始まった熱中症警戒アラートについて周知

熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境になると予想される日の前日夕方、または、当日朝に、「**熱中症警戒アラート**」が発表されます。
(基本的には都道府県ごとに発表)



いつ、どのように 発表されるの？

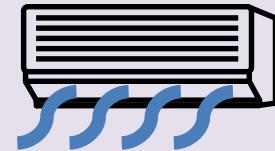
- 暑さ指数※の予測値が都道府県内のどこかで33以上になる場合の、**前日17時頃**、または、**当日5時頃**
※暑さ指数とは、気温・湿度なども考慮した熱中症のための数値です。
- 気象庁と環境省の**ウェブサイト**、**テレビ**、**各種天気予報情報サイト**などで確認することができます。
- 热中症警戒アラートの**メール配信サービス**(無料※)があります。

※ 情報取得にかかる通信料は利用者の負担となります。



発表されたら徹底 した予防行動を？

- 外での運動や活動を**中止・延期**する
- 高齢者など熱中症のリスクが高い人に注意するように**声をかける**
- 昼夜を問わず、**エアコンを使用**し室内温度を調整



熱中症警戒アラートを活用して、効果的な予防行動へ繋げましょう！

過去の状況

◆熱中症救急搬送について

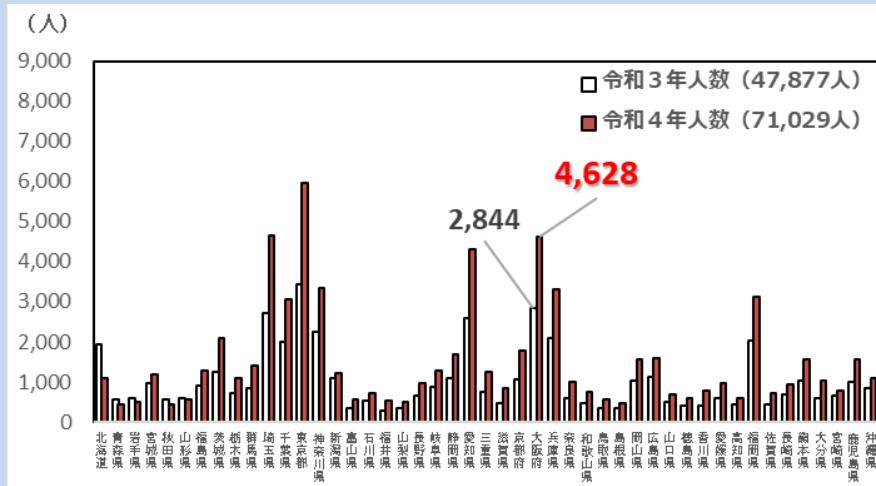
(出典) いずれも消防庁「熱中症による救急搬送の状況」

■月別の熱中症救急搬送人員数（府域）

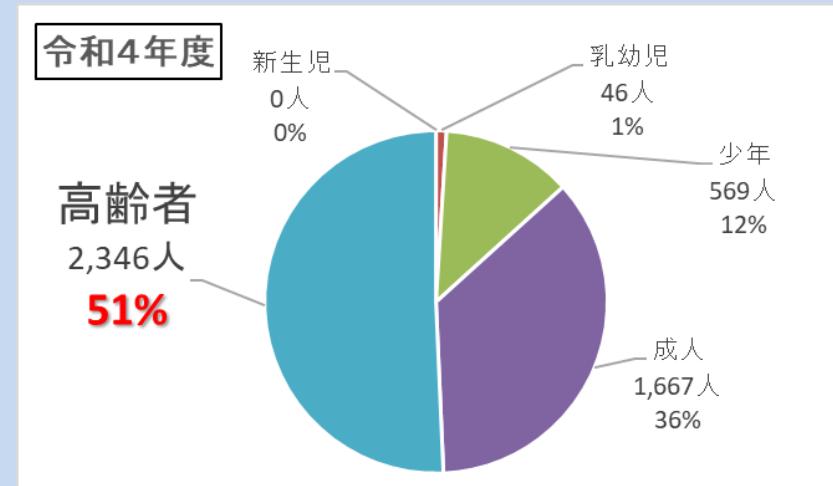
	5月	6月	7月	8月	9月	合計（死亡人数）
2017年	166	224	1,774	1,311	115	3,590 (1)
2018年	133	323	4,432	1,960	290	7,138 (12)
2019年	255	283	1,172	2,724	748	5,182 (14)
2020年	—※	390	716	3,307	456	4,869 (3)
2021年	63	335	1,288	1,016	142	2,844 (3)
2022年	169	991	1,738	1,309	421	4,628 (3)

※2020年の調査期間は6月から9月となっている。

■熱中症による救急搬送状況（都道府県別）



■年齢区分別の救急搬送数（府域）



今夏の状況

◆暑さについて

■熱中症救急搬送人員数と日最高気温の推移



(出典) 気象庁・総務省消防庁のデータをもとに大阪府作成

■熱帯夜数と猛暑日（府域）

	熱帯夜数	猛暑日
2017年	47	15
2018年	53	27
2019年	38	19
2020年	47	22
2021年	37	15
2022年	51	14

(出典) 気象庁のデータをもとに大阪府作成

■近畿地方の6~9月の気候

- 【6月】 気温はかなり高く、降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多くなりました。
- 【7月】 気温は高く、降水量は平年並、日照時間は平年並となりました。
- 【8月】 気温は高く、降水量は平年並、日照時間は少なくなりました。
- 【9月】 気温は高く、降水量は平年並、日照時間は平年並となりました。

(出典) 大阪管区気象台ホームページより

(1) 暑さ対策・熱中症予防に関する啓発

(2) クールスポットの活用促進

(3) 緑化・緑陰形成

(4) 路面や空気を冷やす取組み

(5) 建築物における取組み

(6) 新たな取組み

(1) 暑さ対策・熱中症予防に関する啓発

取組①

暑さ対策啓発資料の作成

(環境農林水産部)

概要

- 暑さ対策について府民等に啓発するためのチラシを2万枚作成し、府域の私立・公立小中高等学校園、民生委員へ配付

具体的な取組内容

暑さ対策啓発資料（表面）

- ◆チラシに漢字クイズを掲載し、クイズの答えを府HPに掲載することで、府HPアクセス数から当チラシの啓発効果を計る参考とした。

【クイズ掲載サイトのPV数実績】1393PV

(12月27日時点)



▲表面



▲裏面

暑さをしのぐ手段や技術の周知啓発

(1) 暑さ対策・熱中症予防に関する啓発

取組②

おおさか気候変動適応・普及強化事業

(環境農林水産部)

概要

■業界団体等に対し、おおさか気候変動適応センターに集積した科学的知見や連携体制を活用したセミナー等を開催することにより、適応の普及を強化。当事業は、令和2年度に大阪府が設置したおおさか気候変動適応センターが実施。

具体的な取組内容

- ◆暑さ対策の指導、支援手法の習得を目的とし、**教育、福祉関係者**向けの暑さ対策セミナーを実施。
 - ・セミナー開催日：6月9日（137名参加）、6月15日（117名参加）、6月20日（83名参加）
 - ・開催方法：オンラインと会場のハイブリッド式で開催
 - 1) 気候変動影響について 講師：おおさか気候変動適応センター
 - 2) 热中症対策のポイント「暑熱順化」と「身体内部冷却」 講師：大塚製薬株式会社
 - 3) 「予防救急」と「応急手当」から見る熱中症対策 講師：大阪市消防局

◆農業関係者に向けて、R3環境省受託事業での検討結果等を踏まえた**適応策の**

セミナーを実施

- ・セミナー開催日：11月10日（20名参加）
- ・開催方法：会場開催
 - 1) 屋外作業における暑熱ストレス軽減技術 講師：おおさか気候変動適応センター
 - 2) 将来予測を踏まえた府内農産物の適応策等 講師：（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所



▲6月9日実施の暑さ対策
セミナーの様子

暑さをしのぐ手段や技術の周知啓発

(1) 暑さ対策・熱中症予防に関する啓発

取組③

暑さ指数の活用促進

(府民文化部・環境農林水産部)

具体的な取組内容

- ◆『暑さ指数メール配信サービス』を府ホームページ等により周知し、府民の暑さ指数情報の受信登録を促進



「大阪府暑さ対策情報ポータルサイト」で情報発信
【今年度のPV数実績（6月～9月）】

20052PV (前年比148%)

- ◆可搬式の電光表示パネルを活用し、暑さ指数と熱中症危険度をリアルタイムに表示し、周知



電光表示パネル

(設置場所：府庁別館、設置期間 5月23日～10月25日)

暑さ指数と熱中症危険度をお知らせ

認知度が低い「暑さ指数」の活用を促進

(1) 暑さ対策・熱中症予防に関する啓発

取組④

みどりのカーテンづくりを通じた府民の暑さ対策の取組促進

(環境農林水産部)

具体的な取組内容

◆ゴーヤの種の啓発物品（企業協賛）を活用し、みどりのカーテンづくりの取組みの促進を通じ、府民の暑さ対策を促進



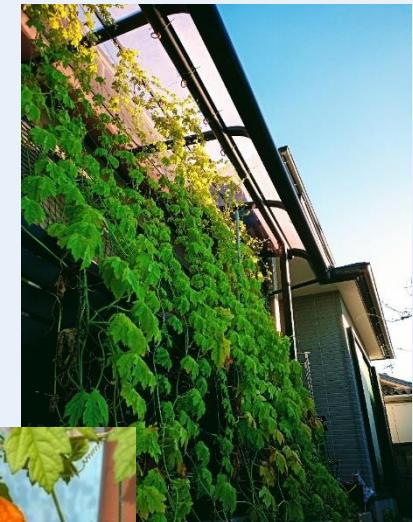
(株)リクルート住まいカンパニーからの協賛
ゴーヤの種（5,000袋）

【配布先】

- ・府内幼稚園・保育園・こども園
- ・府内市町村、小学校
- ・老人保健施設
- ・温暖化防止推進員

など

ポータルサイトで事例紹介



府民が行いやすい身近な取組

(1) 暑さ対策・熱中症予防に関する啓発

取組⑤

大阪府広報による注意喚起・啓発

(政策企画部・府民文化部・健康医療部・環境農林水産部)

具体的な取組内容

ホームページ等による啓発

①「大阪府暑さ対策情報ポータルサイト」による啓発（再掲）

- ・本日の暑さ指数の紹介、熱中症警戒アラートメール配信サービス登録案内
- ・3つの習慣やセミナー等の参考となる資料、暑さ対策情報の掲載

②「こわいんやで熱中症！」ページによる啓発

- ・熱中症の症状、予防、応急処置等の紹介

※①と②は相互リンクにより啓発内容を補完

③大阪府公式Twitterでの啓発（再掲）

④大阪府公式Facebookでの啓発（フォロワー11,695人）

※令和4年12月8日現在

⑤アスマイルコラムによる啓発

知事定例会見での注意喚起

6月29日（熱中症警戒アラートの啓発、「高齢者」「子ども」「室内」での熱中症対策について注意喚起、マスクをはずすことが推奨される場面の啓発）

府政だよりでの注意喚起（7・8月合併号）

・予定発行部数206万部のトピックス（3面）での注意喚起

→熱中症警戒アラートの啓発、ポータルサイトへの誘導

→熱中症対策のためにマスクをはずすことが推奨される場面の啓発



▲「こわいんやで熱中症！」ページ

府民へ多様な媒体を通じ
注意喚起・啓発

(1) 暑さ対策・熱中症予防に関する啓発

取組⑥

大阪府等が実施する周知機会を活用した注意喚起・啓発

(福祉部・健康医療部・環境農林水産部・教育庁)

主な取組内容

セミナー、会合での周知啓発

- ①指定障がい児支援事業者・障がい福祉サービス事業者集団指導（WEB研修）（9月）
- ②学校体育活動等における事故防止に関する研修会（5月開催）
- ③保育士等向けセミナーでの暑さ対策啓発（7月・9月）
- ④民生委員協議会会长連絡会（6月）

各機関等への周知啓発の依頼等

- ①高齢者施設への注意喚起
- ②府所管の認可外保育施設に熱中症警戒アラートを送付し啓発
- ③市町村、保健所、民生委員協議会を通じた熱中症予防リーフレットの送付・周知
- ④大阪府社会福祉協議会へメールによる注意喚起



▲熱中症予防リーフレット

関係者向けの既存の周知機会を活用し、セミナーに準じた啓発

(1) 暑さ対策・熱中症予防に関する啓発

取組⑦

民間事業者の広報媒体による注意喚起・啓発

(府民文化部・福祉部・健康医療部・環境農林水産部)

主な取組内容

《そのほかの団体等の連携協力》

①大阪府老人クラブ連合会会報誌（7月号 約12万部）

→会員向け：3つの習慣、熱中症警戒アラートの啓発
熱中症予防と新しい生活様式の両立

②大阪府農業会議広報誌（7月号 約4.4千部）

→農業関係者向け：熱中症警戒アラートの啓発
夏の作業やマスク着用時の注意喚起

③大阪府国民健康保険団体連合会会報誌「こくほ大阪」

→保険者向け：「大阪府だより」においてエアコンの積極的な利用や、水分補給・塩分補給等を呼び掛け

④銭湯にある企業のバナー広告（6月～7月）

→暑さ対策・熱中症対策の啓発

府からの
お知らせ

ミニミニ健康情報

猛暑での我慢は命取りです

府内では2021年度、2844人が熱中症により救急搬送されました。
暑さから身を守るために次の3つの習慣をおすすめします。

【涼】 暑さを感じて「クーラーの利用」
・自分の感覚だけに頼らず、部屋の温度や湿度を確認して、クーラーの設定期間を調整しましょう。
・外出先では、クーラーの効いた施設で休息しましょう。

【気づく】 暑さを知らない「情報の活用」
・天気予報などでもお知らせされる「熱中症警戒アラート」のほか「暑さ指数メール警報サービス(※)」などの暑さの危険を知らてくれるサービス等で、暑さに備えましょう。

※「大阪府耐熱警報情報録システム(クーラルサウル)」でも紹介しています。情報取扱いの仕事は、年間の約6割になります。

【備える】 暑さにつよい「かばんづくり」
・水やりや塩分補給をこまめに行いましょう。
・暑さに負けない体にすること、体温を見ながらウォーキングなどの汗をかく運動を継続して行いましょう。

注意点 マスク着用により、「熱中症」のリスクが高まります
マスクを着けると体温調節がしづらくなります。
暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」と、マスクや換気など「新しい生活様式」を両立させましょう。

「大阪府暑さ対策情報 ポータルサイト」 大阪府 暑さ対策

情報 提供 大阪府環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課
気候変動課と連携推進グループ (06-6210-9553)

府からのお知らせ

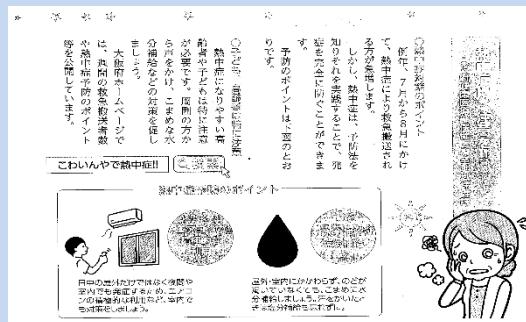
暑い日は熱中症に注意！ 熱中症警戒アラートの活用も

近年、大阪では猛暑日の日数が増加傾向にあるため、熱中症による命取りが発生しています。
特に農作業中の熱中症による命取りは、これまでの年間の10年間で年々増加傾向にあります。
暑い日は、熱中症警戒アラートの活用もおすすめです。

●マスク着用時の注意点

- 夏の作業で心がけること
- できるだけ、気温の高い時間帯の作業を避け、作業前と作業後は、こめな水分補給を続ける。
- 作業は、軽作業による死亡率が最も高いといわれています。
- 汗を多くかいているくつも、水分補給を怠ると、激しい運動や強い負荷のかかる作業は危険です。
- 軽作業は、軽作業による死亡率が最も高いといわれています。

▲大阪府老人クラブ連合会会報誌（抜粋）



▲大阪府農業時報（抜粋）

府民に関心のある媒体から発信することによる、啓発機会の増加

(1) 暑さ対策・熱中症予防に関する啓発

取組⑧

民間事業者との連携による熱中症予防の注意喚起・啓発

(健康医療部)

具体的な取組内容

大塚製薬(株)との啓発事業

①予防啓発ポスター・ボードの作成

(ポスター約1,800枚・ボード約680枚)

→株式会社コクミン、株式会社アカカベ、きららみらい薬局・サクラ薬局、ウエルシア薬局、キタバ薬局に配布したほか、イオン4店舗内にて掲示

②商品販売ポップでの普及 (約4,200枚)

→薬局・スーパーなど啓発

小林製薬(株)との啓発事業

①予防啓発チラシの作成 (26,000枚) 拡充

→新型コロナウイルス感染症を踏まえた「新しい生活様式」における熱中症予防行動を啓発する予防啓発チラシを作成
→アカカベ薬局、民生委員児童委員協議会等に配布予定

キリン堂との啓発事業

商品POPの掲示

→府内キリン堂店舗にて熱中症予防啓発POPを掲示

ダイドードリンコ株式会社との啓発事業

アプリでの熱中症警戒の呼びかけ

→ダイドードリンコ株式会社のアプリにおいて、熱中症に対する警戒を呼びかけ



◀大阪府×小林製薬(株)作成チラシ

(1) 暑さ対策・熱中症予防に関する啓発

取組⑨

学校現場等における熱中症の注意喚起・啓発

(教育庁)

具体的な取組内容

<学校現場等における熱中症対策>

- ①熱中症事故防止に関する通知の発出（体育祭等の活動中における熱中症対策を例示）
→府立学校・市町村教育委員会へ
- ②移管府立学校に対する「暑さ指数計」及び「熱中症予防のための運動指針啓発ポスター」の配付
→令和4年度移管府立学校へ
- ③学校体育活動等事故防止研修会において熱中症対策の講話を実施（5月開催）
→研修会の内容をまとめて冊子を作成し、府立学校・市町村立学校・私立学校の教職員等を対象に配付
- ④「熱中症警戒アラート」の周知及び活用に関する通知の発出
→府立学校・市町村教育委員会へ

⑤空調設備整備を計画的に実施し、教育環境を改善

→令和元年度より5ヶ年計画で体育館（170校）に設置

【工事概要】体育館に空調設備と空気搬送ファンを組み合わせた
スポット方式の空調設備を設置する

→支援学校特別教室等へ計画的に実施予定

令和元年度中に肢体不自由校13校全てに設置

令和3年度において知的障がい校5校に設置

令和4年度において知的障がい校3校に設置

⑥「熱中症予防のための運動指針」を活用し各学校において「学校における熱中症対策ガイドライン」を作成

⑦コロナ禍における熱中症対策の周知

→一般的な感染症対策に加え、熱中症リスクが高い状況でのマスクの取り扱い等を含めた通知を作成し、府立学校へ発出



◀啓発ポスター

令和元年度：府立高校20校に設置
令和2年度：府立高校28校（設置）
令和3年度：府立高校28校（設置）
支援学校13校（設置）
令和4年度：府立高校28校（設置中）
支援学校13校（設置）
令和5年度：府立高校28校（設置予定）
支援学校12校（設置予定）



▲全府立学校に配備している暑さ指数計

(2) クールスポットの活用促進

取組①

クールスポットの利用促進

(環境農林水産部)

具体的な取組内容

府内クールスポットの一元的な情報発信

暑さマップの涼しいスポット公開

府内に整備されているクールスポットについて、日本ヒートアイランド学会が作成した暑さマップの涼しいスポットに反映し、情報を発信

- ・大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム※が選定したクールスポット100選及びクールロード100選（H31計240ヶ所掲載）
- ・大阪府クールスポットモデル拠点推進事業（R2計10ヶ所掲載）
- ・都市緑化を活用した猛暑対策事業（R4計19ヶ所掲載）



※大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム(大阪HITEC)

行政（大阪府・大阪市）、民間事業者（メーカー、コンサル等）、大学等で2006年1月に設立。

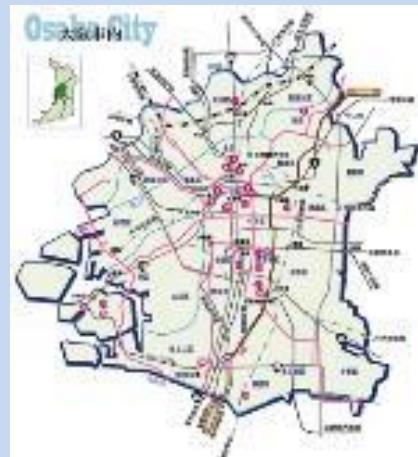
ヒートアイランド対策技術の開発・普及、対策の実施と効果検証、産学官民による協働の実践。



大阪府ホームページでの情報公開

①大阪みどりのクールスポット

気温だけでなく、木陰の状況や風にそよぐ木の葉の音など人の感覚的な涼しさや、生き物の生態なども含めたみどりの清涼感に着目して、「大阪みどりのクールスポット」を紹介（下図）



②クールスポットに出かけよう！

暑い大阪の夏を屋外でも快適に過ごすため、市町村が整備したクールスポットを紹介

(2) クールスポットの活用促進

取組②

おおさかクールオアシスプロジェクト

(環境農林水産部)

概要

■猛暑の際における外出先の一時避難所として、暑さをしのげる涼しい空間（クールオアシス）を、薬局・銀行等施設店舗の協力により府民等に対してご提供いただく。

具体的な取組内容

◆実施期間・時間

期間：暑くなり始めから9月末まで

時間：各施設・店舗の営業時間内でご協力可能な範囲

※実施期間は目安であり、各施設・店舗の状況により変更可能

→359施設・店舗がクールオアシス実施（昨年度63施設・店舗）

◆クールオアシスでのご協力いただく内容（参加施設の可能な内容で実施）



NEW!! 公民戦略連携デスクや府ホームページでの周知の効果により、新規事業者さまからお声がけいただく機会があった。

NEW!! 携帯ショップや建設会社など昨年度参加がなかった業種からの協力も得ることが出来た。

協力施設・店舗には 目印となる標識を掲出



▲ステッカータイプ
チラシタイプ▶



(3) 緑化・緑陰形成

取組

都市緑化を活用した猛暑対策事業

(環境農林水産部)

概要

■災害並みの猛暑による府民の健康被害を軽減する必要性が高まっていることから、暑くても屋外で待たざるを得ない駅前広場などで、市町村や公共交通事業者等が連携し、都市緑化を活用した猛暑対策に取り組めるよう、森林環境税を活用して誘導・支援

具体的な取組内容

◆補助制度の概要

- ・バス停やタクシー乗り場のある駅前広場、単独のバス停、駅（プラットホームなど）において、
- ・都市緑化（必ず含めること）と日除けや微細ミスト発生器等の暑熱環境改善設備（1設備以上含めること）の整備に對して、
- ・1,500万円を上限として事業費を原則全額補助（アクセスが制約される駅のプラットホーム等の改札の内側は事業費の半額を補助）

◆令和4年度採択箇所数 28箇所



「令和2年度実績 JR熊取駅（熊取町）」

(4) 路面や空気を冷やす取組み

取組

打ち水の普及促進

(都市整備部)

概要

■打ち水イベントに下水処理水を提供

具体的な取組内容

◆下水高度処理水を、樹木への水まき、道路への散水などに、有効かつ簡単に誰にでも使用していただけるよう、流域水みらいセンターとポンプ場（計13か所）に、処理水供給施設"Q水くん"を設置



▲ボタンを押すと水が出ます

◆Q水くんについて、府のホームページで利用促進をPR
府内市町村の打ち水イベント等で利用されている
※令和3年度：利用実績なし
令和4年度：豊中市、忠岡町のイベントに提供



▲Q水くん利用例

(5) 建築物における取組み

取組

建築物のヒートアイランド対策貢献者の表彰とHP公表

(都市整備部)

概要

■暑さ対策として、ヒートアイランド対策の評価が高い建築物の建築主、設計者の表彰と府ホームページで公表

具体的な取組内容

◆建築物の環境配慮制度※による完了届出がなされた建築物のうち、CASBEEの総合評価が一定以上で、ヒートアイランド対策の評価値が高いものを表彰（2019年度から「おおさかストップ温暖化賞」に特別賞（愛称：“涼”デザイン建築賞）を創設し、2021年度以降は名称を「気候変動対策賞」に変更し、2022年度についても応募を実施し、現在審査中）



Innovation Garden OSAKA Center

スワンズシティ谷町ブリエ



マルス岬原山台ジム
マルス岬原山公園プール



公道会病院



ジオタワー南森町

<ヒートアイランド対策の評価内容例>

- ・風を導く建築物の配置・形状の工夫
- ・緑地、水面、日陰の確保
- ・外壁面の緑化
- ・設備の排熱位置を高所に
- ・屋根面に緑化や高反射材料を採用
- ・地表面に蒸散効果のある材料や高反射材料を採用 等

※建築物の環境配慮制度とは
府気候変動対策条例に基づき、延べ面積
2,000m²以上の建築物の新築等をしようとする
建築主に工事着手前の建築物環境計画書届出、工事完了後の完了届出を義務付け

(6) 新たな取組み

取組

ミストの設置

(府民文化部)

概要

- 多くの来園者が利用する万博記念公園駅から万博記念公園へのスロープ及び、有料地区へ繋がる中央橋の計2か所にミスト（ドライ型ミスト）の設置と、緑化による緑陰形成を実施。

具体的な取組内容

計画概要

- ◆期間：熱中症等の予防対策として夏場にミストを噴霧
- ◆場所：万博記念公園駅から公園に接続するスロープ及び、自然文化園へ繋がる中央橋においてドライ型ミスト噴射の設置及び緑化を実施。



◀ミストイメージ
ミスト設置場所▶



実績

- ◆令和5年度実施に計画を見直した。
- ◆令和5年度は、最寄り駅から公園への主導線において設置を検討しており夏季における猛暑対策を予定。